

1 単元 春の 町で はっけん

2 本時の指導

(1) 目標

町には働いている人や暮らしている人がたくさんいることに気付くことができるようにする。

(2) 情報活用能力の育成について

気付いたことや自分の考えを共有し合う意見交流会を通して、コミュニティセンターの役割や大切さについて、文や図を使ってまとめることができるようにする。

(3) 準備

教師：ホワイトボード、ホワイトボードマーカー 児童：ワークシート

(4) 指導過程

時間配分	学習活動	指導上の留意点
5分	1 人、講座、建物に分類して集めてきた情報を分類ごとに発表する。	○ 発表した情報はその分類に当てはまっているのか子どもたちで意見交流させる。その際、なぜ違うのかをしっかりと理解させる。 ○ 発表された情報を見直し、自分に足りない情報があれば、書き足させる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> コミュニティセンターに来る「人」について考えよう。 </div>		
10分	2 「人」について情報から分かることをワークシートに記述する。	○ 集めた情報からどんなことがわかるのか、気付いたことをワークシートに記述させる。
20分	3 記述した内容を発表、意見交流をする。	○ 気付いた内容を発表させ、ホワイトボードに書き込ませる。 ○ 児童が発表した際、同じことを書いた児童を確認させるなどして、意見交流に参加していることを意識させる。
10分	4 意見交流を通して再度「人」について分かったことを記述する。	○ 意見交流会を通して、再度分かったことを記述させる。その際、付け加えた内容は赤で書かせるようにする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価事項</p> <p>気付いたことや自分の考えを共有し合う意見交流会を通して、コミュニティセンターの役割や大切さについて、文や図を使ってまとめることができている。</p> <p>□… コミュニティセンターには、管理する人、講座を教える人、講座を受ける人、話し合いをする人などがいることに黒板を使って再度理解させる。</p> <p>☆… コミュニティセンターが地域の人に使ってもらうためにすると良いことを考える。</p> </div>		

※斜体…情報活用能力を育成する学習活動